

令和6年度

相生中学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 家庭学習の習慣と基礎的基本的な学力の定着
- 主体的に学習に取り組む意欲の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 村上 綾菜	委員	1学年主任	龍田 祐貴
		2学年主任	山村 美奈
		3学年主任	中本 亜希子
		教務	井馬 学

校長

濱田 理絵

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

生徒、教員のアンケートにより、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(めざす子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○知識・技能を身につけようと、一生懸命に努力することができる。 ●身につけた知識を活用し、さらに学習を深めることに課題がある。	・基礎的基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。	・授業のめあてを明確にし、本時の学習内容の確認や振り返りを行う。 ・各教科で復習となる宿題を課し、復習の機会を確保する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(めざす子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○発表などの準備をしっかりと行い、自分の意見を伝えることができる。 ●相手の意図を捉えながら自分の考えをもったり、考えを深めたりすることに課題がある。	・学校生活の様々な場面で、自分の考えをもち、表現することができる。 ・友だちの意見を踏まえて自分の考えを深め、積極的に活動に参加する。	・自分の思いや考えを書く場面を増やしたり、他者の意見を取り入れる場面を増やしたりする。 ・考えをまとめることができるように異学年集団での学びの機会を多面的・多角的な視点から充実させる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(めざす子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業の目標や課題に対して、真面目に取り組むことができる。 ●目標や課題に対して、自ら粘り強く取り組むことに課題がある。	・各教科の授業において、粘り強く課題解決しようとする。 ・家庭学習を計画的に行い、その取組を振り返ることができる。	・次の学びにつながるよう振り返りの時間をもつ。 ・家庭学習の計画を定期的なたて、自分の取組を次の学習に生かすことができるようアドバイスを行う。			

令和6年度 学力向上ロードマップ



